

# 2年学年通信

第12号

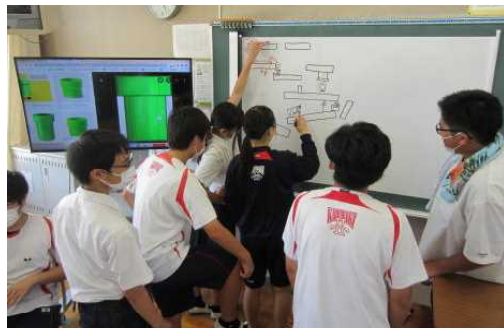


2022.10.5

## 創意工夫とチームワーク ピタゴラスイッチに挑戦！！

9月下旬の総合的な時間を利用してピタゴラスイッチに挑戦しました。班ごとにエリアを分担し、クラス全体で一つの作品に仕上げました。

準備の段階から熱の入った話し合いと試行錯誤が展開され、何度もシミュレーションが繰り返されました。時にはせっかく組み上げた支柱が倒壊したり、しかけが勝手に暴走したりとハプニングの連続でしたが、諦めずに根気よく取り組む姿にみんなの成長とクラスの絆を感じました。



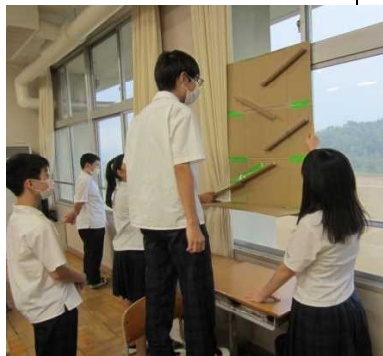
総合優勝	2組
創意工夫賞	1組 5班
チームワーク賞	2組 4班



生徒感想より

○ 何もなかった段ボールからだんだん形ができていって、班と班の接続ができるのかとても不安だったけれど、部活や勉強の時間を割いて、放課後や朝の会などみんなで協力して完成することができた。私は「学級旗の模型を揚げる」という課題の班で、ひもでつながっている物が取れてしまったり、スピードが出なかったり、問題点ばかりだったけれど、本番になるとロープウェイが無事に動いてくれて、とっても嬉しかったです。その後のドミノ倒しは上手いかなかったけれど、みんなで決めたマリオの世界観やBGMでとてもいい雰囲気を作れているなと思いました。

○ 一番思ったのは、できなくても、工夫して何回も試してみたらできることがあるということです。本番ではあまり上手いかなかったけれど、それもピタゴラスイッチの面白いところだなと思いました。



当日の組み立ての様子

- 成功する確率は少ないが、全員が成功すると信じて作り上げた瞬間はすごく達成感があり、とても喜びを感じました。特に良かったのは5班の装置でした。増井先生の写真が貼られたボトルを倒すという面白い発想から、くす玉への流れがいい考えだと思いました。
- 特に印象に残ったのは、たくさん工夫して何度もやり直してからの成功した瞬間です。最初は、当たり前だけど上手いかわなくて、はあっとため息が出そうになるときもあったけど、班のみんなで知恵を出し合って協力し合ったときの成功は、とても嬉しかったです。
- 作っているときに、ボンドを開けっ放しにされたり、スズランテープを失くされたりと、いろいろなことがあったけど、やっぱり完成したときは素直に嬉しいと思った。思い入れってすごい。本番でピタゴラが止まったときの、みんなの「うわあああ!!」とか「まじか!?!」などの笑い声が聞こえると、私も思わず笑ってしまいました。結果は失敗もあったけど、みんなで作る楽しみを知った気がします。
- 当日、1組のピタゴラを見て驚きました。スタート位置が高く、小さいドミノが並んでいたことに、1組の努力を感じました。
- 「負けたけど、みんなががんばったからいいやん」とかはない。めっちゃ悔しい。
- 片付けるのは速かったけど、準備が大変だったので、複雑な気持ちだった。



